



大事協だより



大島地区公立小・中学校
事務職員協会 研修部
第74号
2021年10月1日



今回は、宇検村と伊仙町の紹介です。宇検村からは支援室だよりの提供もあります（別紙）のでご覧ください。

【宇検村学校事務支援室】

宇検村は、奄美大島の南西部に位置し、奄美群島の最高峰である湯湾岳を有しています。天然の入江である焼内湾が村の中心となり、連邦山岳と集落が湾を囲みます。焼内湾と湯湾岳をはじめとする山岳によって温暖な気候と豊かな自然が保たれ、農産業、水産業、酒造、真珠やマグロの養殖が盛んです。平成29年11月1日に村制施行100周年を迎えました。村の活性化の1つとして山村留学制度があり、子育て支援として給食費の無償化、年に1度子育て助成金の支給を行っています。

宇検村学校事務支援室は、村内併設校含め8校に4名の事務職員が配置されています。経験の浅い事務職員2名、中堅事務職員1名、事務主幹1名で構成されており、お互い情報交換し、協力しながら取り組んでいます。支援室は月2回実施し、認定事務が多い年度当初や総点検が必要となる年末調整等の時期は実施回数を増やしています。また、年2回各学校をまわって相互点検を行っています。

支援室では、ICT機器を活用した事務の効率化、今年度より村費システムが公会計化となったため、事務職員未配置校の教頭に支援室に参加してもらい研修を行いました。また宇検村教育委員会と連携をし、学校運営にも取り組んでいます。また、小規模校のため特殊事例は少ないですが、各校で困っていることや疑問に思うことを解決するためにも支援室では毎回活発な協議と研修が行われています。今後も相談や意見交換が行える場として支援室を機能させ、学校現場によりよい教育環境を提供できるよう皆で力を合わせて頑張ります。



事務職員と未配置校の教頭先生が支援室で活動している様子です。

【伊仙町事務職員会】

こんにちは、伊仙町事務職員会です。

本町の事務職員会は、小学校7名・中学校3名の計10名で構成されています。今年度は、新規採用者1名・転入者3名を新しく迎えてスタートしました。町事務職員研修会は年7回実施し、内3回は学校で行っています。

共同実施は月2回を基本とし、伊仙町教育委員会内の執務室で業務を行っています。昨年度までは1つの支援室でしたが、今年度は東部・西部2つの支援室に分かれて支援室業務を行うことになりました。伊仙町学校事務支援室の現状として、新規採用の若年層の事務職員が多く、経験年数が少ないことがあげられます。そのため、支援室においては、学校間で差が出ない事務処理体制の構築に努めています。主な活動内容は、新規採用職員支援、諸手当認定事務、旅費・例月給与相互点検、広報紙の作成、備品の共同入札、事務職員未配置校への町費事務支援等です。

今年度から2つの支援室に分かれてきましたが、可能な限り同日に実施し、両支援室が集まる時間を設定して、疑義が生じた事例や共通理解が必要な事例は情報共有を



行っています。また、手当関係の特殊事例においては、支援室内での協議を重ね、各支援室記録簿を作成しながら連携を図っています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、各支援室内においてもさらにグループを分けて開催をしなければならぬ場合もありますが、2つの支援室となり、新たな取り組みに向かって進めていけるよう、伊仙町事務職員会一同頑張っていきたいと思っています。

今後とも伊仙町事務職員会をよろしくお願いいたします。



～ 新規採用者等の声～



【宇検村立名柄小中学校 川路修平】

令和2年3月16日に赴任校の内示を受けてから1年半が過ぎました。赴任先の学校を目にしたとき、宇検村の場所がピンと来ませんでした。後日、宇検村教育委員会から村のパンフレットや観光案内などが送られて来たとき、学校職員はこんなにも歓迎してもらえるのか、と感激させられました。

辞令交付式が中止となり、同年度採用の職員と顔を合わせることもなく赴任となり不安もありましたが、名瀬港には、朝早くにも関わらず、出迎えの先生方が横断幕を掲げてくださっており学校職員の温かさを感じました。名瀬港から、名柄校区への道中は緑にあふれ宇検村に入ってから、海沿いをひた走り、離島での生活がいよいよ始まるのだな、と新生活が思い描けてきました。



地域の方々も暖かく、郡民体育大会に出場したり社会人の野球チームに誘ってもらったりと、私生活も楽しく過ごせています。事務職員としての業務は、覚えることが多くあたふたしていますが、支援室の先生方の手厚いサポートのおかげで、無事2年目を迎えることができました。1日でも早く宇検村事務支援室の力になれるよう日々の業務に励みたいと思います。今年度もよろしくお願いいたします。

【伊仙町立犬田布中学校 児島佑佳】

今年度より新規採用で伊仙町立犬田布中学校に赴任いたしました。児島佑佳と申します。

はやいもので、私が徳之島に赴任してから半年が経とうとしています。学生から社会人となり、当初は学校事務職員としての業務が全く分からず、指示された仕事をこなすことに必死な日々でしたが、何度も学校に足を運んで教えてくださったり、電話相談にも丁寧に対応してくださったり、分からないことや不安なことがあると、だれにでも相談できる支援室という環境が私の中でも心強く、少しずつですが学校事務職員としての仕事を覚えてきたと感じます。

周りの環境に感謝することや、仕事を一生懸命にこなそうと思う1年目のこの気持ちを忘れずに、これからも頑張っていきたいと思っています。



↑ ～伊仙町瀬田海海浜公園～



8月6日に県事務協現况報告会が2年ぶりに開催され、大島地区から13人参加しました。令和5年度は、大島地区が現況報告発表担当地区となっています。

編集を担当して下さった徳之島町、原稿提出して下さった伊仙町・宇検村ありがとうございました。75号の原稿は喜界町・奄美市東部・住用となっています。よろしくお願いいたします。